

大野小いだよい

「みんなでつくろう幸せな学校」



自ら進んで学ぶ子 自分を高める子 互いを認め合える子

進んで健康な体をつくる子 すべての子どもが幸せを感じできる地域にする



令和7年9月9日 第12号

サマーフェスティバル

に会場ができました。あとは、オープニングを待つばかり…。

14:00、吹奏楽部の6年生4名によるファンファーレを

合図にサマーフェスティバルがオープン！暑い屋下がりにも
かかわらず、大野っ子たちが集まってきた。ストラックアウト、コイン落とし、金魚すくい、くじ引き…、焼き鳥、ジュース、ポップコーン、かき氷…、遊びも食べ物も充実！

しかも、リーズナブル！！準備したおこづかいで、たっぷりと楽しんでいた大野っ子たちでした。



15:00 過ぎには、保冷トラックが校庭に到着し、恒例のアイスタイム。会場にいる皆さんにアイスがふるまわれました。なんと、太っ腹！！暑い暑い日でしたので、おいしかったあ。焼きそば、フランクフルト、焼き鳥など火を扱う皆様も元気を取り戻しました。



16:00 を過ぎると、部活を終えた中学生や高校生の姿も見られ、サマフェスが盛り上がってきました。例年参加されているというマジシャンたちによるマジックショーが。子どもたちも一緒に参加したマジックもあれば、腕や首にナイフがあ～という恐ろしいマジックまで…。ワクワクドキドキの30分でした。引き続き、和太鼓のグループによる力強い演奏が。一気に、祭りらしい雰囲気になりました。夜風が涼しく感じられるころになるとサマフェスは最高潮に！人が多くなり、出店の前には長蛇の列が。



大盛況のうちに、サマフェスが終了しました。実行委員の方々をはじめ、企画・運営してくださった皆様、ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。

2学期スタート！

9月1日、長い夏休みが明けて、2学期がスタートしました。宿題や自由

研究など大きな荷物を抱えて、元気に登校してきた大野っ子。のんびりしたり、夏休みにしかできないことをしたりと、充実した日々を過ごしたことでしょう。夏休み明けの会では、大野小の夏休みの様子についても紹介しました。7月はサマースクールやサマーフェスティバルでぎわっていた



こと、8月になって甲羅干ししていたアカミミガメが脱走してしまったこと、ショコラの具合が悪くなり治療してもらったこと、米がたくさん実ったこと、花の水やりやショコラのお世話・図書室の整備など

を保護者の皆様が手伝ってくださったこと、3年生と4年生がアフリカの子どもたちに向けて描いた絵手紙がEXPO国連パビリオンで動画で展示されていたこと、そして、大野っ子が安全に安心して生活できるようにと用務員さんが草刈りを始めたこと・・・。今日から2学期！大野小を幸せな学校にしていくために、自分がどのような姿に成長するとよいのか、

一人一人が目標をもって、じっくりと粘り強く取り組んでいこうと、校長の話を終えました。

夏休みに活躍した大野っ子を表彰し、転入生を紹介して、夏休み明けの会は終了。その後、教室では、夏休みbingoやすごろく、自由研究の紹介、席替え、係活動決め、お楽しみ会・・・と、担任やクラスメイトと楽しく過ごしていました。



9月3日、大規模地震発生を想定した下貝塚中学校ブロック合同引き渡し訓練を行いました。

13:30訓練地震発生、一次避難。落ちてくるもの、動いてくるもの、倒れてくるものから身を守るために、机の脚をしっかりと抑えて頭を保護していました。「揺れは長くても1分程度、揺れが収まるまで机が動かないようにしっかりと押さえて！」と声をかける担任も。訓練地震の揺れが収まった後は引き渡し訓練に。帰りの支度をして、おうちの方の迎えを待ちます。宿題をしたり、タブレットで学習ゲームをしたり、友達とおしゃべりしたり、掃除をしていた人も・・・、緊張感は薄れましたが、下校までの一時間を上手に過ごすことができました。その後、集団下校に。コース別に集まり、名前を確認したあと、先生たちと一緒に下校しました。一日24時間、365日と考えると、学校にいる時間は2割程度。つまり、自宅や通学路を含む出先で被災する確率が高いのです。通学路はもちろんのこと、寝室やリビング、どこにいても、「落ちてこない、動いてこない、倒れてこない」場所を見つけて、身を守ることができるとよいですね。



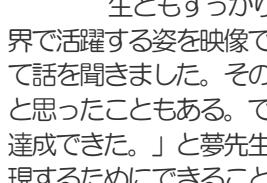
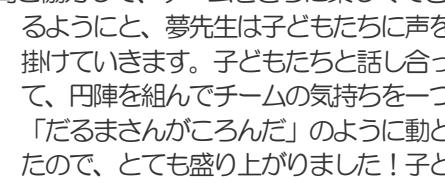
ブロック引き渡し訓練

アスリートによる夢の教室！

の教室」が開催されました。今回の夢先生は、全日本U-12 フットサル選手権で3位入賞とジュニア時代から活躍していたフットサルの選手と、ロンドン・リオとオリンピック2大会出場したフェンシングの選手です。

初めに、体と心をほぐすゲームを。仲間と協力して、ゲームをさらに楽しくできるようにと、夢先生は子どもたちに声を掛けていきます。子どもたちと話し合って、円陣を組んでチームの気持ちを一つにして、ゲームに臨みます！

「だるまさんがころんだ」のように動と静がはっきりしたゲームだったので、とても盛り上がりしました！子どもたちの表情もほぐれ、夢先生ともすっかり仲良くなりました。後半の座学では、夢先生たちが世界で活躍する姿を映像で見た上で、トップアスリートになるまでの道のりについて話を聞きました。その道は決して平坦ではなく、「挫折したことでもやめようと思ったこともある。でも、諦めたらそこまで。諦めずに頑張ったから、目標が達成できた。」と夢先生。最後に、子どもたちが自分の「夢」を思い描き、実現するためにできることを「夢」ノートに記しました。このノートに、なんと夢



先生がメッセージをくださるとのこと、楽しみです！